

# 2020年度 環境活動レポート

〔2020年 5月 1日～2021年 4月 30日〕

2021年9月3日

千代田興産株式会社

# 千代田興産株式会社

## 環境方針

### 基本理念

千代田興産株式会社は、地球環境の保全への取組が最重要課題の一つであることを認識し、従業員一人一人が積極的に継続的に環境負荷を改善していき、社会貢献を目指した企業活動を推進します。

### 基本方針

千代田興産株式会社は、環境に関する法規制を遵守し、法の精神に基づき必要な処置を講じて、環境改善を図ることを目的とし、以下の方針を推進致します。

1. 当社の事業活動に係る環境影響を常に認識し、自主的・積極的に環境負荷の削減を図ります。
2. 当社の事業活動に係る環境関連法規その他の関連事項を遵守します。
3. 当社の事業活動に係る環境影響に関し、以下の事項を環境管理テーマとして取組みます。
  - ①二酸化炭素(CO2)排出量の削減
  - ②水使用量の低減
  - ③廃棄物の削減及びリサイクルの推進
  - ④グリーン購入の推進
  - ⑤省エネに対応した取扱商品を増やす
4. 当社の環境負荷低減活動を全社員に周知し、環境活動レポート等を作成し、公表します。また、必要に応じて評価と見直しを行い、環境方針の見直し変更を継続的にを行います。

制定 2008年7月1日  
改定 2009年9月1日  
改定 2011年7月8日  
改定 2016年9月1日

千代田興産株式会社  
代表取締役 前谷 博久

## 1. 組織の概要

### (1) 事業者氏名及び代表者名

千代田興産株式会社

代表取締役 前谷 博久

### (2) 所在地

本 社	〒810-0012	福岡県福岡市中央区白金2丁目5-16
東京支社	〒103-0023	東京都中央区日本橋本町4丁目6-7 光洋ビル
大阪支店	〒550-0002	大阪府大阪市西区江戸堀1丁目15-27 アルテビル肥後橋
中国支店	〒730-0037	広島県広島市中区中町7-32 ニッセイ広島ビル
四国支店	〒760-0022	香川県高松市西内町4-6 神原ビル
鹿児島支店	〒890-0052	鹿児島県鹿児島市上之園町25番1号 中央ビル
大分営業所	〒870-0037	大分県大分市東春日町6番1号 つつみビル
岡山営業所	〒700-0984	岡山県岡山市桑田町18番28号 明治安田生命岡山桑田町ビル
神戸営業所	〒650-0023	神戸市中央区栄町通2-3-9 共栄ビル
沖縄営業所	〒900-0015	那覇市久茂地3-9-3 田園ビル4F

### (3) 環境管理責任者及び担当者の連絡先

・環境管理責任者	総務部長 今村 英睦
・環境管理担当者	総務部 宇野 健一
・連絡先	TEL 092-533-2981 FAX 092-533-2999
・E-mail	<a href="mailto:uno.kenichi@cknet.co.jp">uno.kenichi@cknet.co.jp</a>
・URL	<a href="http://www.cknet.co.jp">http://www.cknet.co.jp</a>

### (4) 事業の内容

・電気機器の販売並びに販売に関する設置・保守

### (5) 事業の規模 (各年1月現在)

区 分	場 所	2017年	2018年	2019年	2020年
従業員(人)	本 社	80	81	87	87
	東京支社	18	18	19	18
	大阪支店・神戸営業所	35	40	49	52
	中国支店・岡山営業所	37	38	35	36
	四国支店	5	5	6	6
	鹿児島支店	10	10	10	8
	大分営業所	4	6	6	6
床面積(m <sup>2</sup> )	本 社	890	890	890	890
	東京支社	152	152	152	152
	大阪支店・神戸営業所	407	407	506.86	507
	中国支店・岡山営業所	238	238	238	238
	四国支店	56	56	56	56
	鹿児島支店	83	83	83	83
	大分営業所	107	107	107	107

※ 岡山営業所は中国支店が兼任しているため、中国支店の数値に織り込んでいる。  
2018年度中に神戸営業所を開設した。但し神戸営業所は大阪支店が兼任することになるので、  
2019年度から大阪支店に神戸営業所を加えることにする。

### (6) 事業年度

・5月～翌年4月

## 2. 対象範囲

### (1) 事業所名

- |               |       |
|---------------|-------|
| 1. 千代田興産株式会社  | 本社    |
| 2. 千代田興産株式会社  | 東京支社  |
| 3. 千代田興産株式会社  | 大阪支店  |
| 4. 千代田興産株式会社  | 中国支店  |
| 5. 千代田興産株式会社  | 四国支店  |
| 6. 千代田興産株式会社  | 鹿児島支店 |
| 7. 千代田興産株式会社  | 大分営業所 |
| 8. 千代田興産株式会社  | 岡山営業所 |
| 9. 千代田興産株式会社  | 神戸営業所 |
| 10. 千代田興産株式会社 | 沖縄営業所 |

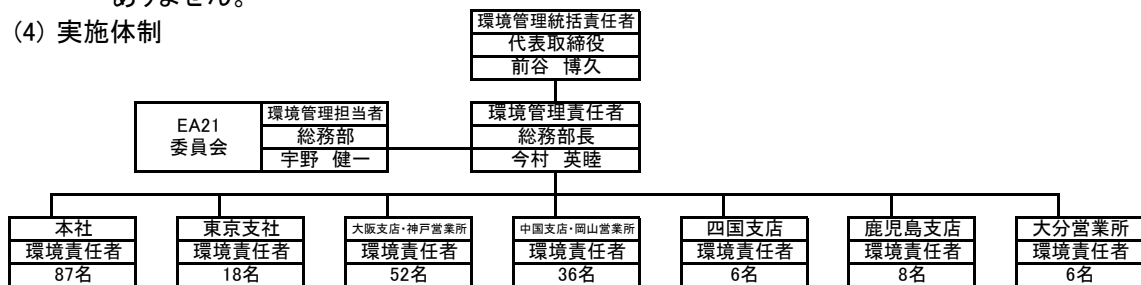
### (2) 活動

- ・電気機器の販売並びに販売に関する設置・保守

### (3) 対象外事業所及び対象外事業活動

- ・ありません。

### (4) 実施体制



## 3. 環境目標とその実績

環境方針に基づいて、以下の目標を掲げて環境活動に取り組みました。

### (1) 中期目標

区分	年度	単位	2017年度		2018年度		2019年度		2020年度	
			基準年	削減率 (基準年より)	2018.05-2019.04		2019.05-2020.04		2020.05-2021.04	
					年度目標	削減率 (基準年より)	年度目標	削減率 (基準年より)	年度目標	削減率 (基準年より)
I	二酸化炭素排出量削減	kg-CO <sub>2</sub>	220,570.4	-1%	218,364.7	-3%	213,953.3	-5%	209,541.9	
	①電気使用量	kWh	229,926.2	-1%	227,626.9	-3%	223,028.4	-5%	218,429.9	
	②自動車燃料(ガソリン)	L	44,216.0	-1%	43,773.8	-3%	42,889.5	-5%	42,005.2	
	③自動車燃料(軽油)	L	10,851.7	-1%	10,743.2	-3%	10,526.1	-5%	10,309.1	
II	水使用量	m <sup>3</sup>	771.0	-1%	763.3	-3%	747.9	-5%	732.5	
III	一般廃棄物排出量	kg	2,473.1	-1%	2,448.4	-3%	2,398.9	-5%	2,349.4	
IV	グリーン購入(事務用品)	率	-	-	80%	-	80%	-	80%	
V	環境・省エネ商品提案	件数	108件	-	111件	-	115件	-	119件	

### (2) 【第66期(2020年5月~2021年4月)の目標と実績】

区分	年度	単位 (総量)	目標 削減率 (基準年比)	基準年 実績	年度目標	実績	目標達成状況		
							対基準 年度	対年度 目標	自己 評価
I	二酸化炭素排出量削減	kg-CO <sub>2</sub>	-5%	220,570.4	209,541.9	200,327.8	-9.2%	-4.4%	○
	①電気使用量	kWh	-5%	229,926.2	218,429.9	235,457.5	2.4%	7.8%	×
	②自動車燃料(ガソリン)	L	-5%	44,216.0	42,005.2	39,179.8	-11.4%	-6.7%	○
	③自動車燃料(軽油)	L	-5%	10,851.7	10,309.1	6,997.8	-35.5%	-32.1%	○
II	水使用量	m <sup>3</sup>	-5%	771.0	732.5	1,075.0	39.4%	46.8%	×
III	一般廃棄物排出量	kg	-5%	2,473.1	2,349.4	2,037.6	-17.6%	-13.3%	○
IV	グリーン購入(事務用品)	率	-	-	80%	44.0%	-	-45.0%	△
V	環境・省エネ商品提案	件数	-	84件	80件	73件	-	-8.8%	△

・環境・省エネ商品に関しては、本年から実績件数のみを記載に変更した。

・二酸化炭素排出量の実績値において、購入電力の排出係数は下記の係数を使用しました。

- |                 |                                |              |
|-----------------|--------------------------------|--------------|
| ①本社、鹿児島支店、大分営業所 | 0.000369t-CO <sub>2</sub> /kWh | (2009年度九州電力) |
| ②東京支社           | 0.000384t-CO <sub>2</sub> /kWh | (2009年度東京電力) |
| ③大阪支店           | 0.000294t-CO <sub>2</sub> /kWh | (2009年度関西電力) |
| ④中国支店           | 0.000628t-CO <sub>2</sub> /kWh | (2009年度中国電力) |
| ⑤四国支店           | 0.000407t-CO <sub>2</sub> /kWh | (2009年度四国電力) |

(3) 【主要指標の前年対比】

区分	年度	単位 (総量)	第65期		第66期		前年 比		
			実績	人数	1人あたり	実績		人数	
I	二酸化炭素排出量削減	kg-CO <sub>2</sub>	204,527	212	964.7	200,328	213	940.5	-3%
	①電気使用量	kWh	241,336	212	1,138.4	235,458	213	1,105.4	-3%
	②自動車燃料(ガソリン、軽油)	L	46,725	212	220.4	46,178	213	216.8	-2%
II	水使用量	m <sup>3</sup>	1,039	136	7.6	1,075	139	7.7	1%
III	一般廃棄物排出量	kg	2,873	212	13.6	2,038	213	9.6	-29%

4. 環境活動計画の実施状況と評価

(1) 二酸化炭素排出量の削減

取組対象	達成 状況	取組計画	実施 状況	評価
電気使用 量の削減 (-5%)	×	・エアコンの温度設定		基準年よりも8%ほど計画値を達成できなかった。一部の拠点でコロナ禍対応のため、時差出勤による空調等の稼働時間が延長になったことが一要因と思われる。省エネ活動は取組計画の通り実行中。
		冷房時温度 27°C	○	
		暖房時温度 20°C	○	
		・不要照明の消灯	○	
		・OA機器の節電	○	
		・昼休みの消灯節電	○	
自動車燃 料使用量 の削減 (-5%)	○	・エコ運転の徹底		目標値を達成することができた。車両の入れ替えにおける燃費の向上も功を奏したと思われる。多くの拠点で走行距離が減少するにいたった。コロナの影響が大きく反映された。 eテレマに関しては、エコドライブと安全運転の意識醸成に寄与している。 ドライブレコーダーは全車搭載済みである。 安全運転の慣行に努める。
		アイドリングストップ	○	
		タイヤ空気圧点検	○	
		法定速度運転の推進	○	
		急発進・急加速の禁止	○	
		空ふかしの禁止	○	
エコ車両への切替	○			

(2) 水使用量の削減

取組対象	達成 状況	取組計画	実施 状況	評価
水使用量 の削減 (-5%)	×	・水道水圧を下げる	○	管理対象は本社と大阪支店のみである。  昨年と同様に本年より本社で花壇に手を入れて、定期的な水やりを実施していることが影響および本社で一部漏水が判明した。これに関しては修繕を完了したので来期の動向を注視する。
		・各蛇口の節水	△	
		・水洗トイレの節水	△	

**(3) 一般廃棄物排出量の削減**

取組対象	達成状況	取組計画	実施状況	評価
一般廃棄物の削減 (-5%)	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現状把握の実施</li> <li>・廃棄物の排出量を計量する</li> <li>・リサイクル率の向上</li> <li>古新聞、古雑誌等のリサイクル</li> <li>アルミ缶、スチール缶、瓶</li> <li>ペットボトル</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○</li> <li>○</li> <li>△</li> <li>○</li> <li>○</li> </ul>	基準年度からの目標は達成できた。今年度のトレンドとして人員増やコロナ禍による社屋でも滞在時間の増加が見受けられた。しかし、多くの拠点で前年よりも削減傾向は見受けられる。

**(4) グリーン購入比率向上**

取組対象	達成状況	取組計画	実施状況	評価
グリーン購入比率向上	△	<ul style="list-style-type: none"> <li>・グリーン購入対象商品の購入推進</li> </ul>	△	今後、グリーン購入については、目標を意識せずに取り組んでいく。

**(5) 省エネに対応した取扱商品を増やす**

取組対象	達成状況	取組計画	実施状況	評価
環境・省エネに貢献する商品の取扱	△	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境・省エネ商品提案</li> </ul>	△	省エネ提案の件数に拘らず、提案により受注できた件数を充実させていく。

\* 各拠点では少々差異はあるものの、全社として取りまとめると上記の達成状況、実施状況となった。

## 5. 次年度の取組み

2018年度からの中期計画の見直しの3年目として、-5%を目標に取り組みを実施した。例年通り電気、水道および一般廃棄物など人員増が結果にすぐに出やすいものと、ガソリンなど影響が出にくいもので明暗が分かれるような結果が見受けられた。2021年度は新中期計画を策定し、各事業場の削減対策等の共有化を図りつつ、継続可能な環境の整備と実行を進めたい。

## 6. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価並びに違反、訴訟等の有無

当社の事業活動において法的義務を受ける主な環境関連法規は次のとおりです。

適用される法規制等	適用される事項(施設・物質・活動等)	適合状況
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	一般廃棄物(本社) 建設業関連廃棄物(本社・大阪支店・中国支店)	○
フロン排出抑制法	第一種特定製品 業務用の空調機器	○
自動車NO <sub>x</sub> ・PM法	車両管理	○
福岡県・市環境基本条例	本社事業	○
東京都環境基本条例	東京支社事業	○
大阪府・市環境基本条例	大阪支店事業	○
広島県・市環境基本条例	中国支店事業	○
香川県・高松市環境基本条例	四国支店事業	○
兵庫県・神戸市環境基本条例	神戸営業所事業	○
大分県・市環境基本条例	大分営業所事業	○
鹿児島県・鹿児島市環境基本条例	鹿児島支店事業	○
岡山県・市環境基本条例	岡山営業所事業	○

2020年5月に上記の環境関連法規の遵守状況を確認・評価した結果、違反はありませんでした。また、関係機関等からの指摘、利害関係者からの訴訟もありませんでした。

## 7. 代表者による全体評価と見直しの結果

### 電機技術を通じ社会に奉仕する

代表取締役社長 前谷博久

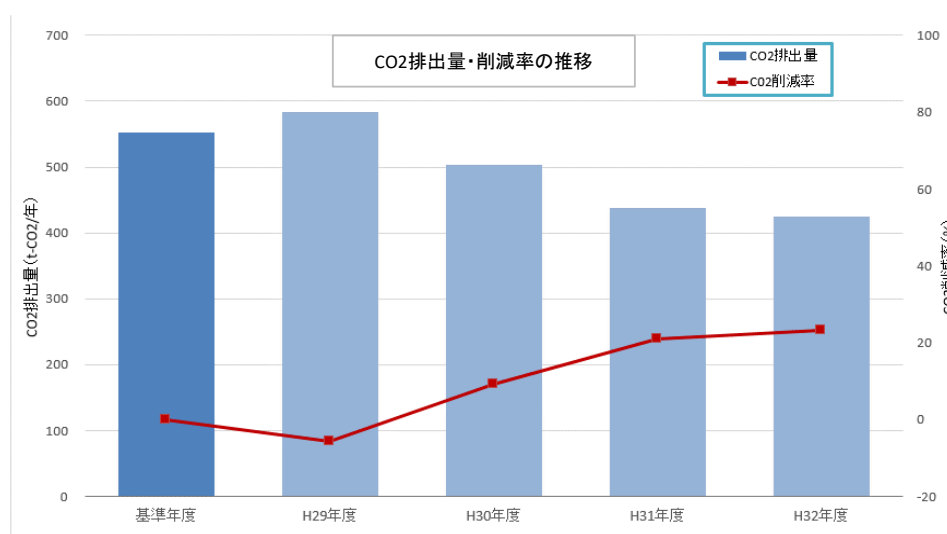


2017年度実績を基準値として取り組んだ新中期計画の3年目として、2020年度の活動を顧みると社員増により(2017年度189名→2020年度213名と24名増員)、2017年度の実績人数から10%以上の変化が生じています。また本年はコロナの感染リスクへの対策として、社内的には在宅勤務や時差出勤を実施したり、社外的にも営業活動の一部自粛など例年とは異なる企業活動となりました。こういった環境の中でエコアクション活動にも、空調設備の稼働時間延長や営業活動における車両利用機会の減少などの影響が結果に反映されていると考えています。

本年度の具体的な数値を見てみると、昨年同様に電気・水道・一般廃棄物に関しては、人員増の影響が顕著に見て取れます。しかし、前年との使用量を比較してみると、一般廃棄物は大幅に、電気・ガソリンは概ね2%程度の減少を達成できており、喜ばしい限りです。ガソリンに関しては、車両台数の増加の中で減少は営業活動の自粛の影響もあるとみています。

一方で水道使用量は、前年使用量を上回ってしまいました。原因は、本社設備の一部で漏水が発生したもので、修繕を完了しましたので、来期の活動時に使用量が適正值に戻っているか確認します。

本年は、弊社鹿児島支店における省エネルギー診断やCO2削減に関する業務を紹介いたします。鹿児島支店では、ここ5年間で5社・10事業所のサポートさせて頂いており、以下のグラフは平成29年に弊社の省エネコンサルを受けられた企業さまのCO2排出量と削減率の推移になります。本事例においては、高効率空調の導入、変圧器の更新、LED化、ボイラー更新と様々な改修を実施しながらCO2削減に取り組まれ、ここ3か年では毎年約20%の削減を達成する結果となっております。鹿児島支店においては、今後のこのような事例の実績を積み上げて頂きたいと思っております。



最後に、現時点でコロナの先行きは不透明で、企業活動に継続して影響を及ぼすと想定されます。コロナ禍の中で制限された活動になるかも分かりませんが、その中で持続可能なエコ活動に進んでいきますので、皆様方のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。